

佐藤 俊介 スーアン・チャイ

[ヴァイオリン]

[フォルテピアノ]

ブラームスとその時代

Johannes Brahms und seine Zeit



2024年

10月10日

日

13:15開場

14:00開演

マーキーホール

ブラームスが愛した響き

[J.B.シュトライヒャー 1871年製/No.7150]



ミューズでJ.S.バッハ《無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ》、パガニーニ《24のカプリース》などで、洗練された音楽性と圧倒的なテクニックに裏付けられた名演奏を披露してきた佐藤俊介。

ヨーロッパでも屈指の名手として尊敬を集める佐藤俊介が、いよいよロマン派の王道ブラームスの傑作を取り上げる。

フォルテピアノの名手、スーアン・チャイを共演者に得て、ヨアヒム、クララ・シューマンの作品も加え、ブラームスの時代の響きを辿る。

ヴァイオリン、フォルテピアノ共に、ブラームスが活躍した時代のピリオド楽器を使用する点にも注目だ。



公演詳細

ヨハン・バプティスト・シュトライヒャーは、19世紀前半に活躍したウィーンのピアノ製作家。ブラームスはグラーフが製作したフォルテピアノ [1839年製] とシュトライヒャーが製作したフォルテピアノ [1868年製] を愛用していたことが知られている。

また、ブラームスは、1871年製のJ.B.シュトライヒャーの楽器もウィーンの住居に所有しており、交響曲第4番を作曲した時期に使用していたことが確認されている。しかし、この楽器は残念ながら第2次世界大戦で焼失してしまった。今回使用するJ.B.シュトライヒャーは、焼失した楽器と同型のフォルテピアノであり、ブラームスが理想とした響きを“いま”に伝える貴重な楽器である。